

事務事業名	在宅医療介護連携推進事業【28新規】				会計	介護保険	実施区分	28新規	
H29作成課等名	長寿支援課	H29係等名	地域包括ケア係	H28担当課等名	長寿支援課				
基本計画上の位置づけ	政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり						
	施策	35	高齢者福祉の推進						
目的	対象(誰・何を)	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者				対象指標	指標名及び単位		28年度数値
	意図(どうい状態にするか)	地域における医療・介護の関係機関が連携し、在宅医療介護サービスを提供して、地域で暮らし続けることができる					要介護、要支援認定者(10月1日現在/住所地特例・施設入所者数除く)	5326	
	向上させたい上位施策の成果指標	安心して暮らせている高齢者の割合							
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	在宅医療・介護連携推進のための協議会回数					4	4	
	定性目標								
事業概要	<p>誰もが重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指し、介護保険制度の地域支援事業の包括的支援事業に位置付けられた在宅医療・介護連携推進事業として、厚生労働省が示した具体的な8項目の事業に取り組む。</p> <p>医療との連携は二次医療圏が一体的に取り組む必要があるが、当南信州地域は一つの二次医療圏を形成しており、また市町村単独や地域包括支援センター単位での実施が困難或いは非効率的な課題があることから、広域的な課題整理や解決を図り、事業推進へと繋げるための検討を目的として、広域連合が事務局となり、三師会(医科・歯科・薬科)をはじめ、訪問型看護・リハビリ・介護・行政等多職種による関係機関・団体の参画を得て、平成28年4月に「南信州在宅医療・介護連携推進協議会」が設立されたため、当市もこれに参画し、南信州地域全体の課題として、検討に加わる。</p> <p>一方で、検討の中で、市町村単独で取り組むことが効率的・効果的であると整理された事業がある場合は、市単独でその実現に向けて検討・取組を行う。</p>								
28年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	<p>広域的な協議組織として、平成28年4月に南信州広域連合を事務局とした「南信州在宅医療・介護連携推進協議会」が設置され、これに参画。厚生労働省が示す「切れ目のない在宅医療介護サービスの提供体制の構築推進」や「医療・介護関係者の情報共有の支援」を実現するための「南信州版退院調整ルールづくり」に取り組み、また「医療・介護関係者の研修」として、南信州圏域全体での多職種研修の開催などに取り組む。</p>				<p>「南信州在宅医療・介護連携推進協議会」各種会議開催回数 1 理事会幹事会合同会議回数 2 幹事会(単独)回数 3 専門部会、小委員会回数 4 飯田市部ブロック多職種研修会開催回数</p>		<p>1 1回 2 3回 3 13回 4 2回</p>		
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		0	3,744	0	0	地域支援事業/包括的支援事業 国39% 県19.5% 1号22% 市19.5% H28年度新規)介護保険制度改正による			
国庫支出金			1,460						
県支出金			730						
起債									
その他									
一般財源			1,554						
人件費計(千円)②		0	0	0	0				
正規職員所要時間									
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		0	3,744	0	0				
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>南信州広域連合が設置した南信州在宅医療・介護連携推進協議会へ参画して、南信州地域全体の課題として検討・取組を行った。 南信州全体の多職種研修事業の一環として、飯田市部ブロック研修会を2回開催した。</p>								
改革改善の考え方	①問題点	H30.4までに厚生労働省が示す8つの事業項目を実施する必要があるため、引き続き、必要な検討・取組を要する。							
	②改革提案	南信州在宅医療・介護連携推進協議会の検討・取組に引き続き参画する。							